

- ★ BTC 軽種馬育成調教場の昨年度利用実績は前年より減少したものの、昨年秋以降の若馬利用開始に伴い利用頭数も伸びてきており、厳しい寒さの中、屋内調教施設において充実したトレーニングが順調に進んでおり、若馬の今後の活躍が期待されます。また、5～6月にかけて屋内トラック馬場のクッション砂入替えを予定しておりますので、利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、安全性向上にご理解ください。
- ★ BTC 育成調教技術者養成研修生は、一日一日を大切に過ごしてきた研修が、あっという間に一年経過し、近年活躍が著しい JRA 育成馬での騎乗訓練など貴重な体験を経て、4月半ばに修了し、それぞれ牧場へ就職していきます。この経験を就職先の牧場で遺憾なく発揮し、理想のホースマンを目指して、さらなる頑張り活躍を期待しています。また、4月上旬には32期生21名が入講してきますので、今までの研修生同様よろしくお願い致します。【Y. H.】
- ★ JRA 通算 1,000 勝達成、松山康久調教師、本当におめでとうございます。昨年の11月からなかなか勝てない状況の中、よく往診に通った中村広先生の無念の999勝での引退が頭をよぎっていたので、喜びもひとしおでした。しかも過酷なりハビリを克服し長期離脱明けの後藤浩輝騎手で。松山先生には JRA 競走馬診療所に全面的な信頼とバックアップを寄せていただき、獣医師、装蹄師が多くのお馬をみせてもらいました。個人的には正月当番の時にいただいたおせち料理が一番うれしくて…。そのような名伯楽も2月で定年。そして、今回12名という大勢の調教師の方が引退・勇退されました。
- ★ 一方、BTC 東京事務局においても、平成 18 年 3 月から8年間の長きにわたって勤めてこられました伊藤克己理事長が、この3月末で退任されました。生産・育成界に精通されています伊藤理事長が、これまでの外国産馬の輸入による競馬の発展を振りかえり、『世界を駆けるサラブレッド』と題し、「たづな」に餞（はなむけ）として寄稿されました。他に、すべての事務的なことを取り仕切ってこられた五島崇事務局長、16年間勤めてこられた植田かすみ職員が退職され、長年本当にお疲れ様でした。総勢8名中3名が交代する異例の大異動です。【Y. F.】

BTC ニュース 2014 年 第 95 号

※ BTC ニュースに関するお問い合わせは、下記の電話で受けつけております。

発行日：平成 26 年 4 月 1 日

発行：公益財団法人 軽種馬育成調教センター TEL **042 (358) 1173** (代) FAX 042 (358) 1174
〒183-0024 東京都府中市日吉町 1-1 東京競馬場内 ●ホームページ <http://www.b-t-c.or.jp>

編集責任者：杉本 修 編集：藤井 良和

制作・印刷：西谷印刷株式会社 〒135-0022 東京都江東区三好 2-1-4